

科目名	コンサートプロダクト1						年度	2024	
英語科目名	Concert Product 1						学期	前期	
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート舞台コース 1年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	田城佳子	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 コンサートやイベントにおける舞台の役割や実際の作業などの基礎について理解できるようにします。									
【科目の概要】 ＜コンサート舞台コース＞ 舞台装置の機能やドラム台の組立など、基礎技術を習得します。									
【到達目標】 ●舞台の名称、用語を理解できる。●各セクションの流れを理解し、タイムテーブルの作成、図面作成、進行表の作成ができる。●舞台を安全に進行する。●ドラムセットのセティングができる。●楽器の基礎知識を習得し、各種アンプの種類、名称が理解できる。●イントレの名称、組み方を理解し安全に組めるようになる。●箱馬、平台を使って山台の作製ができる。									
【授業の注意点】 授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	舞台機構について各所の名称・仕組みを理解し、安全に使用することができる。		舞台機構について各所の名称・仕組みを理解している。		舞台機構について各所の名称を理解していない。				
到達目標 B									
到達目標 C	箱馬・平台を使用し、ドラムライザー組みをすることができる。		箱馬・平台などの種類およびサイズについて理解している。		箱馬・平台などの種類を理解していない。				
到達目標 D									
到達目標 E	ドラムセットの構成楽器について適切に組み立てることができる。		ギターアンプ・ベースアンプの種類を理解し、適切に取り扱いができる。		楽器やアンプなどの種類について理解していない。				
【教科書】 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 *課題や、イベント後のレポートを評価する。 *本番実習での協調性、積極性、理解度にて評価する。 *積極的な授業参加、協調性、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンサートプロダクト1			年度	2024
英語表記		Concert Product 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	基礎実習①	舞台の名称・機構の理解	1 舞台機構 1	舞台の機構・名称を理解する	2	
			2 舞台機構 2	舞台の機構・名称を理解する		
			3 進行シミュレーション	マイクを使って進行台本を読み上げる		
2	基礎実習②	楽器/ドラムセット名称・組み方 Gt・Ba Amp名称 音出し	1 Gt. Amp/Ba. Amp	実際に音を出し、Ampの特徴を理解する	2	
			2 ドラムの名称・仕込	ドラムの名称、組み方を理解する		
			3 ローディーの仕事	ローディーの1日、仕事の流れを理解する		
3	基礎実習③	箱馬・平台 山台の組み方 尺貫法	1 箱馬・平台	箱馬・平台の寸法理解	2	
			2 箱馬・平台	箱馬・平台を使って、山台の作製を理解		
			3 尺貫法	メジャーの見方、尺貫法の理解		
4	基礎実習④	タイムテーブル 進行表 平面図・正面図	1 タイムテーブル	搬入から仕込み・本番・撤収・搬出までの流れ理解	2	
			2 進行表	RHの流れを理解する		
			3 平面図・正面図	図面の見方を理解する		
5	基礎実習⑤	トラス名称・組み方 A2イントレ名称 組み方	1 トラスの部品・名称	トラスのサイズ・部材の理解	2	
			2 イントレ部品・名称	A2イントレ名称、部材の理解		
			3 組み方・安全	安全にイントレ組みが出来る		
6	グレード実技	基礎実習の 理解度確認	1 ドラムセットの名称	ドラムセットの名称、理解度確認	2	
			2 尺貫法	尺貫法の理解度確認		
			3 箱馬・平台	箱馬・平台の寸法・組み方の理解度確認		
7	基礎実習 復習 1	タイムテーブル 進行表 箱馬・平台の復習	1 タイムテーブル	搬入から仕込み・本番・撤収・搬出までの流れ復習	2	
			2 進行表	RHの流れ復習		
			3 箱馬・平台	箱馬・平台を使って、山台の作製 復習		
8	基礎実習 復習 2	楽器の復習 Amp/Dr トラス組み方	1 Gt. Amp/Ba. Amp	実際に音を出し、Ampの特徴 復習	2	
			2 ドラムの名称・仕込	ドラムの名称、組み方の復習		
			3 トラスの名称・組み方	トラスのサイズ・部材・組み方 復習		
9	基礎実習 復習 3	平面図・正面図 復習	1 立ち位置図面作成	各自、立ち位置図面の作成(手書き) 復習	2	
			2 平面図・トラス	トラスにて道具セットを考え、図面に起こす		
			3 正面図	セットに対して、照明ボタン(タップ)関係性の理解		
10	Drライザー作製	Drライザー組 作製手順の理解	1 Drライザー部品	Drライザー部品の理解	2	
			2 Drライザー組み方	Drライザー組み方の理解		
			3 ケコミ原反・パンチ	原反を使用しケコミ方・パンチの引き方の理解		
11	A2イントレ 設営	A2イントレ設営 手順復習 単管パイプ取付理解	1 安全	ヘルメット・ハーネスの着脱手順の理解	2	
			2 A2イントレ組み	イントレにて2段3連組み方の理解		
			3 単管パイプ取付	パイプ取付に必要な工具・部品、取付手順の理解		
12	Voチャレンジ 資料作成 1	Voチャレンジ 資料作成	1 タイムテーブル作成	各セクションの必要作業内容を理解し作成	2	
			2 平面図の作成	立ち位置・トラスの置き位置を、図面に起こす		
			3 進行表作成	出演者(出演順)・時間・本番の流れを明確に表記する		
13	Voチャレンジ 資料作成 2	Voチャレンジ 資料作成	1 各部署の流れ確認	各セクションの作業内容を理解する	2	
			2 リハーサル内容確認	RHで確認する内容を考え、どう相手に伝えるか考える		
			3 シミュレーション	コース内で、本番に向けてシミュレーションを行う		
14	Voチャレンジ 本番 1 文化祭準備①	Voチャレンジ本番 野外ステージ 設営練習	1 タイムテーブル	タイムテーブル通りに、全体の時間のキープ	2	
			2 RH・本番の進行	RHから本番終了まで、無事に進行をする		
			3 野外ステージ準備	野外図面をみて、必要な部材の準備		
15	Voチャレンジ 本番 2 文化祭準備①	Voチャレンジ本番 野外ステージ 設営練習	1 タイムテーブル	タイムテーブル通りに、全体の時間のキープ	2	
			2 RH・本番の進行	RHから本番終了まで、無事に進行をする		
			3 野外ステージ準備	部材の搬入・基礎ステージ設営準備		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等